



けやき

自立する子

《学校教育目標》

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく

第8号 令和5年11月1日

なぜ勉強をするの？

校長 五十嵐 和彦

「なぜ勉強するの?」「勉強って何の役に立つの?」、子供からの質問で最も困ってしまうものの一つです。しかし、確実に言えることは「勉強は自分の人生を豊かにするもの」であるということです。「勉強」は自分の知識や世界を広げてくれる手段でもあります。手に入れた知識を駆使し、できることや選択肢を増やしていくことは、人生を豊かにすることにもつながります。



学びに無駄はありません。直接役に立たなくても、理解しようとした姿勢や自ら考えて行動した経験は、必ず何かに生かされるはず。勉強は進みたい道への足掛かりとなり、これまで積み重ねてきた学びがアドバンテージとなります。たくさんの知識は、苦難を乗り越える武器にもなります。

「学問の秋」と言われるように、勉強をするにはとてもよい季節です。もう一度、勉強することの大切さを考えて、学習に取り組んでいきたいものです。



人生の選択肢が広がる



世界が広がる



困難を乗り越える力



夢を実現する土台



幼児期の遊び



義務教育期の学習



高校の勉強

土台となる 学び



資格を取る



生涯学び続ける



語学の勉強

将来の様々な学びにつながる

10月の活動から



10/5 動育学習(1年)



10/11 児童朝会(図書委員会)



10/20 社会科見学(4年)



10/24 2校親善体育大会



10/25 芸術鑑賞教室



10/30 ハロウィン献立

11月のお話朝会から

読書のススメ

暑かった夏も過ぎ、秋の深まりを感じるようになってきました。宮前小学校では、今年度の学校研究として「自分の考えを豊かな言葉で表現できる児童の育成」をテーマに取り組んでいます。その中でも子供たちの語彙力を高めることに重点を置いて、授業改善を図っています。語彙力を高めるためには、「読書」が効果的であるといわれています。本には様々な言葉が登場します。読書しながら言葉の意味をつかみ、それを会話や作文の中で使えるようになった時、語彙力が身に付いたと言えます。語彙力が高まると自信をもって相手と会話することができます。

11月は「読書月間」です。各学年で目標を設定し、読書に取り組んでいきます。読書を楽しむとともに、知らず知らずのうちに語彙力を高め、自信につながればと考えています。各学年の目標は次の通りです。

- 1年生：15冊以上
- 2年生：15冊以上(そのうち2冊が30ページ以上)
- 3年生：20冊以上(そのうち4冊が50ページ以上)
- 4年生：20冊以上(そのうち4冊が100ページ以上)
- 高学年：累計1000ページ以上



目標を達成した児童には、賞状を授与する予定です。

11月の生活目標 本と仲良しになろう